



ぶらり相生第 30 号
平成 30 年 9 月

びせん
「福田眉仙」

まだまだ暑い日が続きますが、季節は着実に変わりつつあります。相高の 2 学期が始まりました。9 月には体育大会が予定されています。「ぶらり相生」も第 30 号を数えることができました。今後とも相高ともどもよろしくお願ひします。

さて、日本を代表する画家福田眉仙は、相生生まれです。本名は、周太郎です。明治 8（1875）年

矢野町瓜生うりゆうに生まれます。相生の光専寺住職の観成に可愛がられ、寺に逗留とうりゆうしていた

宮田其溪みやたきけいに絵の指導を受けます。明治 25（1892）年、大鳥圭介（上郡町出身、西洋軍学者・外交官）の仲介



で京都画壇の久保田米倦くぼたべいせんに学びます。明治 30（1897）年東京美術学校（現東京芸術大学）で日本画家の橋本雅邦に学びます。後に、日本の美術品を再評価した岡倉天心の勧めで中国に渡り、3 年をかけて中国全土の写生旅行を行います。ちょうどその頃、雅号を眉仙に改めています。

昭和に入り、兵庫県より御大典記念衝立作成を依頼され、裏面に兵庫県鳥瞰図ついたてを描いています。戦後、神戸の湊川神社拝殿天井に雲龍（写真）を描いています。

このように、日本美術史上、偉大な業績を遺した福田眉仙は、相生が生んだ偉大な芸術家です。